



市民本位の組織を 目指して大胆な 市民所改革の実行

市民との対話を欠かさない、市民の求めに素早く的確に対応し、市民サービスが一段と向上するよう、市役所をより市民本位の組織へと改革します。また、職員数の適正化を進める一方で、多様化、高度化する行政ニーズや課題に応じるため、高い専門性とともに、行動力と成果志向が職

員一人ひとりに備わるよう組織強化を進めています。このほか、若手職員による職員知恵出し会議や職員を対象とした自己啓発研修補助制度、事務支援員の新規採用など、積極的に若い英知の結集を図っています。

さらに、電子市役所の推進のため、証明書自動交付機の利用促進を図るとともに、各支所には半自動で証明書を交付する窓口交付システムを導入、上下水道料金のコンビニ納付に続いて、2011年には新たに個人市民税など市税のコンビニ納付も開始しました。

すべては 市民のために

「新しい公共」を作り出すという理念のもとに、市民や地域、企業や各種団体、行政などの主体が、緊密なネットワークと信頼関係を築き一緒にまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」を進めています。

■地域おもてなし事業 大地の芸術祭をはじめイベントや観光などで十日町に訪れる人々に対する市民の自主的なおもてなしを、市が支援することで来訪者へのおもてなしのレベル向上を目指すというものです。

最大の効果と 効率を目指し

行財政改革を推進

事務・事業の効果を高め、電子市役所の推進で二層の効率化を進めながら、人件費などの行政コストを削減します。そして、限られた費用であっても職員の創意工夫と知恵の出し合いにより、最大の効果を生み出し、職員5000人体制に対応できる組織に改革します。また、市債の繰り上げ償還や借り換え、余裕資金の有効運用など、効果的な運用に取り組み、2011年には新たな行政創造プラン(行革大綱)をスタートさせ、さらなる財政の健全化に努めています。

手を取り合い 支え合う

「協働のまちづくり」

市民や地域・企業・NPO・行政など、多様な主体によって支えられる公共サービスの仕組み(新しい公共)を創る取り組みが始まっています。担い手の一つである地域自治組織については、現行の地域協議会を整理し、地域ごとに組織化されている振興会などを地域自治の担い手として、活動に必要な財源も準備しながら、2012年からのスタートに備えています。これら地縁型の組織のほか、NPOや市民活動団体なども連携して、「新しい公共モデル事業」などを進めています。また、行政も含めたそれぞれの役割分担などを体系化した自治基本条例の制定についても検討しています。

◎Realization of city development. New initiatives are commencing entirely for the good of citizens.

Progress is being made with cooperative city development whereby close networks and mutual trust are built up between citizens, the locality, businesses and all kinds of organizations and administrations, etc. based on the concept of producing new public services.

◎为了实现城市建设的目标, 一切为了市民,新活动已经开始。

根据创造“新公共”的理念,推进市民和地区、企业和团体、行政等主体建立紧密的联系和信任关系,一起参加到“共同参与城市建设”的活动当中来。

■ネージュ原付ナンバー 市の魅力を発信するツールとして、全国的にも有名な「十日町雪まつり」のキャラクター「ネージュ」がデザインされたナンバープレートを交付しています。

人と人との絆を紡いで 市民活動を活性化したい。

合併後の十日町市内に数多くある市民活動団体の横つながりを強めることで、ネットワークを広げ協働のまちづくりを実現できないかとひととサポを立ち上げました。行政と市民活動団体、市民活動団体と市民、市民活動団体同士、つまりひとと人との絆を紡いでいくことで市民活動を活性化したいという思いが発足しました。当会は恒例となつた、とおかまる市民活動見本市やめぐみかめかの企画・運営を通じて、各種市民活動団体の活動を市民に広くPRし、ひととサポの会員を増やしたいと考えています。



■職員知恵出し会議・発表風景 重要度、緊急度、優先度の高い政策課題を、若手職員が集中的に検討し、斬新かつ柔軟な発想を市政に反映させ、予算の効果的、効率的な執行及び組織の活性化につなげていくことを目指しています。



■リユース食器 環境・福祉・まちづくりのNPOなかまたち」は、イベントやお祭りごみが野放しにされている現状を何とか改善したいと、2006年から「リユース食器」貸し出しに取り組んでいます。



市民活動ネットワーク ひととサポ代表

十日町市野在住「フーゴボランティア雪隊」の代表。大地の芸術祭のサポートボランティアネットワーク「ひととサポ」の代表を務めるなど、積極的にまちづくりに関わっています。



■スノーボランティア雪軍隊 約60人が所属。4隊に分かれて、高齢者世帯を中心に屋根の雪掘りを無償で行っています。

■公共空間クリーンアップパートナー事業 社会貢献事業として公園等公共施設を率先してきれいに維持管理してくれる企業や各種団体を募集し、市がPRの面からバックアップするものです。

◎なお、2011年7月には「ひととサポ」の有志が、東日本大震災と新潟・長野県地震の被災者を励ましたいと、十日町に伝わる「だんごおもり」を作って贈りました。